



インタビュー インフォニックス(株)舞鶴支社

昨年5月の連携協定を契機に設立されたインフォニックス(株)舞鶴支社。今後、市と協働しITの力で地域の活性化を推進する皆さんにお話を伺いました。

近畿職業能力開発大学校京都校
インターン生 永井 宏尚 さん

インフォニックス(株)舞鶴支社
採用第1号 角野 泰穂 さん

インフォニックス(株)舞鶴支社
支社長 望月 秀昭 さん

ばと思っております。

▼永井さんはインターンでどんなことを？
永井さん 仕様書をもらってそれを英訳する作業をしています。英語の能力が必要と思われるかもしれませんが、実際はいらなくて、自動翻訳ツールがあるのでそれを使って仕事をしています。

望月さん いかにもその作業を効率よくやる工夫をして仕事をしてもらっています。本日はプログラミングもしてほしかったんですけど、ちょうどいい仕事がないので逆にこちらの仕事は仕事量がいっぱいあって、バリバリ納品物を作ってもらっています。

永井さん 働くことにあまりいいイメージを持っていませんでした。パソコン上でやり取りし合っている環境がいいなって思いました。働くことへのイメージが変わり、将来こういうIT関係の仕事に就けたらいいなと思います。アルバイトもほとんどやったこと



▼舞鶴支社の仕事は？
望月さん 舞鶴支社では、セールスフォース(※)に関する事業に携わっています。具体的には、顧客管理システム(CRM)をお客さまが導入される際に、要件などをヒアリングして設定するといった業務です。その他にも、それに関連するシステム開発も行います。セールスフォースの導入支援を中心にシステム開発やその周辺システムの導入開発というものが舞鶴支社の主な業務内容です。

社員は今のところ2人(1月末時点)で、連携協定の中でも宣言しましたが、3年で10人の採用を目指しています。採用第1号が角野さんで、第2号の方は1月1日から勤務されます。こちらは府外の方で、舞鶴に移住される予定です。

▼角野さんほどのような経緯でインフォニックスに？
角野さん 西舞鶴高校卒業後、アメリカの大学に進みました。大学を卒業後は航

なかつたので、仕事の流れを知れたことも自分の中で大きいかと思います。

望月さん ただ英訳するだけでなく、わからないところはチャットを使って質問したりと積極的に働いてくれています。いい感じでコミュニケーションをとってくれていて、東京在住の社員からリモートで指示を受けて仕事をもらっています。ですが、何の問題もなくスムーズに仕事をこなしてくれています。

▼今後の展望は？
望月さん プログラミングができる人材はいます。しかし、それに加え、ITのサービズを使って、うまく人と関わり、「コミュニケーション」が取れる、うまくまとめている人材はなかなかいません。そういう人は需要が高く、枯渇してきているので、そういう人材を育てたいと思います。舞鶴市には近畿能開大学京都校や舞鶴高専で専門的に学んでいる学生もいますし、進学のために舞鶴を離れている優秀な人がたくさんいるはず。そういった人材の受け皿になりたいですね。

また、インフォニックスが舞鶴市に進出するだけでは規模が知れています。地方に進出してそれが成功したというパターンをつくることで、他の会社、IT企業が進出するいい事例になるのかなと思います。何社も舞鶴市に入ってきてもらい、舞鶴をシリコンバレー化できればと思っています。

空会社に勤務していましたが、休みのたびに舞鶴に帰ってきていて、いつかUターンしたいなと思っていました。でも、なかなか自分の経験を生かせるところがなく、どうしようかと悩んでいる時に、新型コロナウイルスが発生して、仕事も少なくなったのでUターンを決めました。自分を生かせる仕事を探していたのですが、ITの仕事にも興味がありました。未経験者も積極的に採用し、十分なカリキュラムのもと、人材育成にすごく力を入れているインフォニックスに魅力を感じ、入社に至りました。

望月さん 今と昔では求められるスキルも変わってきていて、昔はプログラミングができないとダメだったので理系の人の採用が中心でした。しかし、近年はセールスフォースを使って、お客さまが経営的にどのような方向にもってきたいの、か、ということを理解して話ができる人材を求めています。未経験であっても、お客さまの話を理解し、しっかりと会話ができる。うかというところを採用の際は見えています。未経験でも素質があれば十分活躍できます。また、人材育成のカリキュラムがしっかり組んであり、そのカリキュラムをこなすことで、1人前に仕事ができるようになります。角野さんはいけそうだなと面接して感じていたので今後の活躍に期待しています。

▼IT企業は未経験者には敷居が高そう
ですが、実際のところには？
角野さん 全くの未経験で入社し、まだ入社ひと月(11月末現在)ですが、分からないところはオンラインツールを使って東京や京都市内在住の先輩社員に気軽に質問でき、社員さんも気軽に掛けて声を掛けてくれるので、会話しながら学んでいくことも働きやすいです。

望月さん 本格的に戦力になるのは3か月から半年後ですが、角野さんはもう少し早いかもしれません。仕事の難易度、仕事の有無などのタイミングにもよりますが、サポートしながら教えていく感じですね。

角野さん 今後、認定試験もあるので、そうした資格を取っていきたくて、ITの会社に入ったからには、いろいろしてみたいなって思っています。それこそプログラミングも興味があります。前職で接客の仕事をしていて、人と関わることは好きなので、経験を生かしていければいいなと思います。

※セールスフォース…企業と顧客をつなぐ営業支援・顧客管理システム

ITは遠い世界で、都会でなければできない仕事というイメージがあるかもしれませんが、そんなことはありません。地元にながら、東京、海外の仕事ができます。また、文系の方やコンピューターをあまり知らない人たちにもこういう仕事があるよって知ってもらおうと、将来の選択肢を増やすことにもつながるかもしれません。学校などでの講義などで少しでも皆さんの力になれるよう、舞鶴で頑張っていきたいですね。



舞鶴高専杯プログラミングコンテスト 審査員としても参加

小・中学校でGIGAスクールが始まり、プログラミングに対する関心が高まる近年。自然豊かな舞鶴で育った小・中学生の発想力や表現力、技術力、発信力をコンテスト形式で披露する場を設け、将来に夢を抱く子ども達を育成するために実施された同コンテスト。望月舞鶴支社長も審査員として参加されました。

